



周防の森ロッジに集結した20WJ派遣第27隊の面々  
事前訓練キャンプ：2002年8月20日～22日・光市周防の森ロッジ

# 百方一心

題字は、毛利三十二代毛利元道氏書

第 3 2 号

発行

平成14年12月1日

山口市神田町1-80

防長青年会館

ボーイスカウト山口県連盟

TEL 083-928-0079

FAX 083-923-8623

初めて顔を合わせた指導者、スカウト40名(当日38名)のチームワークをまず第一に考えてスタートし、資料の説明、行動訓練、交流会など短時間ではあつたがスムーズに行えたと思います。

その中で前回の世界ジャンボリーからお祭り色が少し薄れ地球開発村、文化遺産、地域社会への奉仕、自然探求等のモジュールがあ

第27隊々長として参加することになりました。

第17回大会(韓国ソラク)では副長として少し気楽に参加しましたが、今回は隊長に任命されかなりプレッシャーがかかっている。

今夏、8月20日～22日までの二泊三日の日程で光市周防の森ロッジを会場に派遣スカウトの事前訓練キャンプを行いました。



今回、タ  
イ王国で開  
催される第  
20回世界ジ  
ャンボリー  
大会へ派遣



## 世界ジャンボリーへ二度目の挑戦

第2地区コミッションナー 時山和博

**20WJ概要**  
大会名：第20回世界スカウトジャンボリー  
期 間：2002年12月28日  
～2003年1月8日  
開催地：タイ王国  
チョンブリ県サッタヒーブ  
参加者：WOSM加盟154の国  
と地域他から2～3万人  
山口県連盟派遣概要  
スカウト12人・指導者2人

リプログラムも変化しています。参加するスカウトたちもただ「交流しながら楽しむ」ではなく「勉強しながら交流する」ことが求められており、日常的な英会話程度は必要であることを重点的に説明したことでスカウトの気合も十分入ったものと思われまます。

交流に関しては「よさこいソーラン節」を全員で練習し、解散する頃にはなんとか踊りが形になって安心しました。

最後に私の責任として「とにかく全員無事に帰ってくるのが一番、スカウトたちには素晴らしい心の宝物となるお土産を持たせてやりたい。」

# 交通安全キャンペーン

岩国暁団

9月22日自動車学校で行われた交通安全キャンペーンに参加した。交通安全クイズに早々と不正解になってしまい、衝突体験コーナーの列に並んだ。

わずか時速5キロメートルなのに、予想した以上にひどい衝撃に皆びつくりしていた。

その後、イズミ南岩国店前で交通安全グッズを配って、交通安全の大切さを呼びかけた。

## 国際交流フェスタ

防府スカウト協議会

防府スカウト協議会は、毎年国際交流フェスタに参加し、ホットドックの販売、赤い羽根共同募金、ミニスカウト展を行っている。

募金活動のスカウトたちも、横でフリーマーケットが行われていることが気になっていたようであるが、募金をしていただいた人たちから暖かい気持ちを受け取って大きな声で「ありがとうございました」と言っていたのが印象に残っている。

## プラカード隊の勇姿

美祿第1団 ボーイ隊

美祿市内で美祿市民体育大会が行われ、参加市民たちは爽やかな汗を流した一日になった。

この日、ボーイスカウト隊の隊員はプラカード隊として奉仕した。

市内からは多くの学校の生徒やスポーツ少年団の子供たちの参加もあり、暖かい声援が送られた。



## 欲張りプログラムの舎営

徳山第1団 ビーバー隊・カブ隊

今年の夏は、大阪舞洲で日本ジャンボリーがあり、カブ隊ビーバー隊は1泊2日の舎営となりましたが、プログラムの中身は毎度のことながらメニューがいっぱい。

せっかく海(島)に来たのだから、まずは水遊び。ついでに生きたタコも自分でゆがいて食べよう！

ヨットクルージング(今年の目玉商品)もスカウトに聞けば初体験。もんどり(漁具)を

しかけて魚とり。

残念ながら捕れた魚は、ちっちゃなフグばかり！

釣りと花火の一日目であった。次の日は、島巡りのサイクリングなどのプログラムが盛りだくさん。帰りの巡航船の待ち時間約1時間は水遊び。時間超過で全員走つての乗船でした。

その船の中で汗びっしょり。特に水がしたたる素晴らしい女性リーダー(事故防止のため海に入っていたら)からお叱りを受けました。

聞くところによると、シャワーを使うと濡れた髪を乾かすのに、たいそう時間がかかるそう。ごめんなさい...でも楽しかった。

## ビーバースカウト合同キャンプ 第 2 地区

の  
い  
係  
こ  
先  
と  
を  
ト  
と  
を  
こ  
を  
矢  
い  
後  
し  
こ  
を  
ト  
と  
を  
こ  
を  
矢  
い  
後  
し  
こ

平成8年より始まった、防府と光と下松との合同キャンプも今回で第5回目を迎え、今回は光市の野外活動センター（周防の森ロτζジ）で6月23、24日でおこないました。この活動の意義は、毎年変わるビーバースカウトが年に1回、違う地域のスカウトたちと何かに一緒にできることはいかと言ったから始まり、今回は主に河原で思いっきり遊ぶように、石投げをしたり、弓矢で射抜いたり、河原の石を使い宝探しをしたりして遊び、最後に大きな竹でそうめん流しをして終えました。



このキャンプでは保護者の手を借りずに、できるだけスカウトとリーダーだけで活動することを心がけている。これから先もずっとこの友好関係を続けていきたいものだ。

## 第111回指導者講習会 中部地区で開催

9月1日、永田主任講師のもとに第111回指導者講習会が開かれた。

当日は男性10名、女性8名が参加した。いつになく多くの参加者で、とてもよい講習会となった。これから先リーダーとして、しっかり頑張っていたきたい。

例年、指導者講習会は4月第2日曜日及び9月第1日曜日に開催される。



## 国旗掲揚奉仕

岩国暁団

岩国暁団では、祝日にボーイ隊員が城山に行き国旗掲揚の奉仕を行っている。先輩達が続けてきた奉仕、とぎれることなく後輩に渡したい。

## 指導者定型外訓練

第2回を防府で開催

平成14年度、第2回指導者定型外訓練が、10月13日、14日の2日間の日程で開催された。今回の講習会では、スカウト工作（木工コースとソングセミナー）コースが設定され、参加者一様に、技能の修得と親睦にと、楽しく、美味しく、実入りの多い講習会であった。例年、定型外講習会は、5月の連休及び10月の体育の日前後に開催されている。



## 科学の祭典でボーイスカウトPR 第1地区：岩国市科学の祭典

岩国市体育館で子供たちに科学への興味を抱いてもらおうと開催された「岩国市科学の祭典」にブースを出展してスカウト活動のPRをおこなった。今年の展示はロップでのトンボ作り、絵合わせパズルで子供たちにボーイスカウトをアピールした。多くの子供たちが参加するイベントだけにアピール効果は抜群だ。（と思う。）  
入隊待ってるヨーン！





昭和49年、北海道千歳市内で開催した第1回シニアスカウトフォーラムで「より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか」について討議された結果、「スカウト奉仕の日」を全国的に展開することが提案されました。日本連盟ではこの提案を受け、昭和50年から、5月の子供の日を中心とした1週間を「スカウト週間」として「より良い社会を目指して/美しい日本を作ろう」を統一テーマに、全国的にスカウトたちが街に出て、奉仕活動を展開していくこととしました。

例年行われるスカウトの日は、全国のスカウト・指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとして、様々なスカウト活動を全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献するとともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的としています。

### スカウトの日とは

スカウト週間からスカウトの日へ

**2002 スカウトの日 9月15日** 山口県連盟：参加 11団・427人：回収缶 5,941本





「スカウト週間」は平成元年までの15年間にわたり、多くのスカウトの参加を得て実施しました。平成元年に15年間の実施状況を再点検し、平成2年には「スカウト奉仕の日」として、また国際環境年にちなんで「スカウトカントリー（缶取り）大作戦」を統一テーマに展開しました。そして各参加団からの報告内容を整理・分析したうえで検討を行い、名称を「スカウトの日」とし、現在に至っています。

スカウトカントリー大作戦は平成元年に大阪連盟がポイ捨て空缶の回収を「カントリー（缶取り）大作戦」として行っていたものを全国的に展開することとし、「スカウトの日」の統一テーマとして設定しました。近年では「スカウトカントリー大作戦」にサブテーマを設けています。

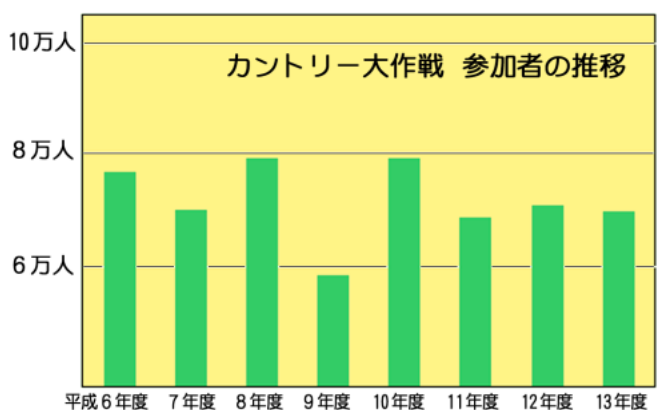
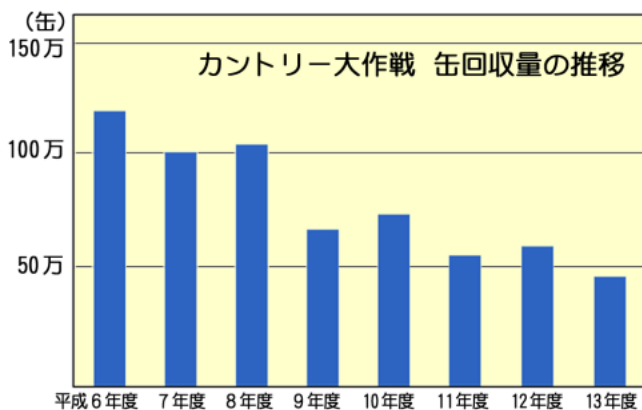
## カントリー大作戦

スカウトの日の「缶取り」

スカウトカントリー大作戦は平成元年に大阪連盟がポイ捨て空缶の回収を「カントリー

（缶取り）大作戦」として行っていたものを全国的に展開することとし、「スカウトの日」の統一テーマとして設定しました。近年では「スカウトカントリー大作戦」にサブテーマを設けています。

「スカウト週間」は平成元年までの15年間にわたり、多くのスカウトの参加を得て実施しました。平成元年に15年間の実施状況を再点検し、平成2年には「スカウト奉仕の日」として、また国際環境年にちなんで「スカウトカントリー（缶取り）大作戦」を統一テーマに展開しました。そして各参加団からの報告内容を整理・分析したうえで検討を行い、名称を「スカウトの日」とし、現在に至っています。



# スカウトのお年寄り訪問

光第2団

スカウトの日の奉仕の一環として、9月15日に特別養護老人ホーム「ほしのさと」へ、ビーバー隊9名、カブ隊18名が慰問しました。今年で4回目です。

到着後、およそ1時間くらい歌をうたい、ダンスを踊り、そしてゲームをして賑やかに過ごしました。最初、おじいちゃんやおばあちゃんたちはスカウトのパワーにビックリしていました。スカウトたちもたくさんのお年寄りに驚いて、恥ずかしがったり緊張する場面もありましたが、次第に打ち解けてくると

お互いに表情も明るくなり、スカウトたちの元気で可愛らしい姿に、お年寄りたちも心を和ませてくれるようでした。



おり、代表者6名がステージの上で、日頃の活動や運動会の練習のことなどを話しました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまい、昼食に美味しいカレーを頂き、一人一人と握手をして老人ホームを後にしました。お年寄りのなかには、帰るスカウトたちを見送りながら涙する人もいました。



## スカウトの日に！ 防府スカウト協議会

9月15日スカウトの日、防府スカウト協議会では、防府駅周辺のカントリー大作戦を行い、防府市内のスカウト120名が勢揃いした。

缶、ビン、燃えるゴミを分けて、12袋がいっぱいになるゴミが集まった。

スカウトたちも普段歩いている道で、あまり気にならないゴミが「こんなに沢山あるのか」と、びっくりしていた。

わずか1時間の活動ではあったが、スカウトたちにとっては、色々考えることのできるスカウトの日であったと思う。



ペットボトル 109本

ビン 32本

アルミ 132本

スチール 353本

# カントリー大作戦

岩国第5団 嶋岡大樹

9月15日、東地区の交通局のまわりで、ボーイスカウトのみならずカントリー大作戦をしました。道路のはしっこや、みぞには、ものすごいゴミがありました。カン、ビン、ペットボトル、おべんとうのから、サッカーボール、たばこのすいがらなどたくさんありました。においも強かったです。海にも、ゴミがいっぱいありました。

隊長に「東地区は、なんでもんなにごみが多いかね。」と言われました。ぼくのうちのすぐ近くがこんなにまごれていては思いませんでした。なんだかはずかしかったです。

カブの三人で、きょう争しながらふくろいっぱいあつめました。カンとビンとペットボトルをあわせて、二百個以上ありました。

ぼくは、東地区がこんなにまごれていることをみんなに知ってほしいと思いました。そして、ぼくの街をもっときれいにしたいと思いました。

か「にや？」と、とても期待している、スカウト経験豊富な隊長です。お酒の好きな隊長、飲み過ぎには注意しましょう。



# 名物リーダー紹介

防府第2団 田嶋隊長

「大きな声、とても恐い隊長」スカウトたちの声が聞こえてきそうであるが、スカウトたちは何でも知っている隊長に「今度は何をしてくれるのかな？」「次は何を作るのか」



「しっかり縛れや！」(定型外訓練で)



2日間ではあったが全国から研修生34名、講師2名、スタッフ8名総人数44名での研修で、とても有意義であった。

## 知っていますか？「百万一心」の由来

山口県連盟では、県連盟歌「百万一心の歌」など“百万一心”の4文字を多く用いている。この「百万一心」の由来には諸説あるが、近年では次の説が有力とされている。

戦国の武将毛利元就が郡山城(広島県吉田町)を拡張して全山を城郭とした際の基礎工事が大変な工事となり、時の普請奉行は人柱をたてることに意を決していた。

しかし元就は、先祖野見宿弥が埴輪によって殉死にかえた故事にならい、尊い命を失うべくでないことを諭し、高さ6尺、巾2尺の巨石に「百万一心」と書き、それを彫らせて埋め人柱に代えた。その意味は、百の字は一画を省いて「一日」とし、万の字は故意に略字を用いて「一力」と表現した。

これを分解して読めば「一日一力一心」とも読める。即ち「一」の字は同じの意味であるから、日を同じくし、力を同じくし、心を同じくして全員一致協力して事にあたれば何事でも成し遂げられる。人柱を建て、民を失う必要はないと、衆人協力の大切さを教えられたものと伝えられている。



山口市豊栄神社

## 法話を聞いて

岩国 曉 団

とみななかつた自分に気づいた。そして、自分のこととしてとらえるには、時間が足りなかつた。岩国曉団が継続的に行っている毎週日曜の、朝6時半から日曜礼拝に参加して勉強してみなくては…。

9月21日(土)小島委員長の話聞いた。

本能寺の山門をくぐるときに一礼し、本堂では拝礼して席に座つた。仏教賛歌を歌い、生活信条を唱和し、法話で「命」の話聞いた。言われてみると、今まであまり考えたこと

## 本願寺派スカウト

### 指導者研修会

「スカウトにはなぜ宗教が必要か」というテーマで9月7日から翌8日の一泊二日で開催された。初日はグループ討議で、

- 1 名譽にかけて、
  - 2 仏(神)と国とに誠を尽くし
  - 3 奉仕 4 幸せな人生
- という4つの論点で話し合われた。夜には前ボイススカウト日本連盟音楽委員会委員長の村上智真氏を招き「スカウトソングの心を歌う」という題目で、歌を交えながら講義があった。

2日目には1日目のまとめをし、記念講演「本派スカウトにとつて、そなえよ常にの本意とは」という題目で、山口県連盟長老の小島孝悌氏のお話があった。

# スカウト君

作：おだゆきな



## 叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章で益田宗親副連盟長、引頭義男学識経験者理事が受章されました。おめでとうございます。

### 勲五等・双光旭日章

山口県連盟副連盟長 益田宗親氏

昭和45年、ボーイスカウト下関第6団委員長に就任。以後、山口県連盟副理事長、同健康安全委員長、同理事長を歴任。平成4年度より山口県連盟副連盟長。

### 社会教育功労 文部科学大臣表彰

山口県連盟学識経験者理事 引頭義男氏

昭和33年、ボーイスカウト小郡第1団ボーイ隊副長として指導者登録。以後、第3地区副コミッショナー、同コミッショナー、山口県連盟事務局次長などを歴任。平成2年度より山口県連盟学識経験者理事。



おめでとう菊スカウト

岩国第1団ボーイ隊

ビーバースカウトから一緒にスカウト活動を続けてきた3人がソロって菊章に進級しました。

岩国第1団ボーイ隊の川戸崇史君、竹本哲朗君、森脇正充君です。

菊スカウトとしてみんなの手下になるように「ベンチャー隊に上進してからもがんばるんだ！」と控えめに抱負を語る3人でした。

## あとがき

ジャンボリーが終わってから3箇月、4箇月と月日が流れ、暮れの装いと共に、すっかり寒さが増してきた今日このごろですが、どのようにお過ごしでしょうか。

あの暑かった舞洲を思い出せど、さすがに汗は出てきませんが、とてもよい経験ができました。

私も自隊に戻り、自隊のスカウトたちとキャンプや奉仕にいそしんでいます。皆さんも友達を沢山つくり、良い思い出をつくらせてください。

その良き思い出を百万一心へ……

N・N

編集責任者：広報委員長 羽村特美  
 印刷所：藤田謄写堂  
 長門市東深川892-9 (0837)22-2369  
 スカウト活動のお問い合わせは

山口県連盟事務局 mailアドレス：bsymg@ymg.urban.ne.jp  
 山口県連盟HP http://www.ymg.urban.ne.jp/home/bsymg/